

【資 料 編】

障害者生活状況調査

調査票 A (身体障害者手帳をお持ちの方用)

行政区

区

調査不能

1.死亡 2.転出 3.調査拒否 4.長期不在 5.その他 ()

(注：調査担当者のみ記入のこと)

■ ご記入にあたって

※ この調査は、平成18年11月1日現在の状況でお聞かせください。

- (1) 該当する項目の番号を口にご記入してください。質問により、1つのみ回答していただくものと、複数回答していただく場合があります。質問に当たっては、お答えください。
- (2) 「その他」にお答えの方は () 内にその具体的内容をお書きください。
- (3) 調査票への記入後、記入済調査票封筒に調査票を入れ、封をしてください。
- (4) 記入済調査票封筒にあなただけの住所・氏名の記入や切手の貼り付けなどは不要です。
- (5) 後日、調査員が回収にお伺いしますので、お返しください。

平成18年度京都市障害者生活状況調査のご協力をお願い

晩秋の候、皆様方におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

このたびは本市におきましては、平成13年以降、5年ぶりに障害のある市民の方々の生活状況調査(無記名)を実施することとなりました。

本調査の対象となられた皆様方は、9月1日現在、市内在住の身体障害者手帳をお持ちの方々、療育手帳をお持ちの方々、精神障害のある方々から、京都市が無作為抽出の方法で選ばせていただいたものです。

今回の調査は、皆様方が日頃、京都市の保健福祉施策等に対してどのようなご意見をもち、どのような生活をされているのかをお聞きしまして、「障害の有無にかかわらず、すべての市民が個人として厚く尊重され、いきいきと活動しながら、相互に支え合い安心して暮らせるまちづくり」をさらに進めていくため、平成15年に策定した「京都市障害者施策推進プラン」の見直しなどを検討するうえでの重要な資料にさせていただきます。

調査員からお渡しましたこの「調査票」にご回答のうえ、「記入済調査票封筒」に入れて、封をしていただき、後日、再び伺わせていただく調査員にお返しいただきますようお願い申し上げます。

なお、このたび皆様方にご回答いただいた内容につきましては、統計の目的にのみ使用するものであり、個人の秘密は必ずお守りいたします。尚、何らかの理由で、何かとお忙しいときにご迷惑とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひともご回答いただきますようお願い申し上げます。

平成18年11月

京都市長 梶本 頼兼

1. 基本的事項

〈お問い合わせは、お住まいの地域の福祉事務所へ〉

名 称	所 在 地	市バス停留所	電 話
北福祉事務所 (支援保護課)	北区紫野東御所町33-1 (北区総合庁舎内)	北大路駅前	432-1286 FAX 414-1217
上京福祉事務所 (支援保護課)	上京区今出川通聖町西入堀出町289 (上京区総合庁舎内)	上京区総合庁舎前	441-5121 FAX 441-7211
左京福祉事務所 (支援課)	左京区吉田中阿連町1 (左京区総合庁舎内)	京大正門前	771-4287 FAX 752-0670
中京福祉事務所 (支援保護課)	中京区西堀川通御池下る西三坊堀川町 521 (中京区総合庁舎内)	堀川御池	812-2544 FAX 822-3096
東山福祉事務所 (支援保護課)	東山区清水5丁目130-6 (東山区総合庁舎内)	清水道	561-9348 FAX 531-3284
山科福祉事務所 (支援課)	山科区柳池池尻町14-2 (山科区総合庁舎内)	〈地下鉄〉 柳 辻	592-3243 FAX 594-2181
下京福祉事務所 (支援課)	下京区西洞院通堀小路上る東堀小路町 608-8 (下京区総合庁舎内)	下京区総合庁舎前	371-7217 FAX 351-8752
南福祉事務所 (支援課)	南区西九条南田町1-3 (南区総合庁舎内)	東寺南門前	681-3282 FAX 681-9555
右京福祉事務所 (支援課)	右京区太秦蜂岡町31 (右京区総合庁舎内)	右京区総合庁舎前	861-1451 FAX 861-9559
右京区 京北出張所 (福祉担当)	右京区京北周山町上寺田1-1	〈JR西日本バス〉 周 山	0771-52-1815 FAX 0771-52-1800
西京福祉事務所 (支援保護課)	西京区上桂森下町25-1 (西京区総合庁舎内)	千代原口	381-7666 FAX 393-0867
洛西福祉事務所 (支援保護課)	西京区大原野東境谷町2丁目1-2 (洛西総合庁舎内)	境谷大橋	332-9275 FAX 332-8420
伏見福祉事務所 (支援課)	伏見区鷹匠町13-1	肥後町	604-4801 FAX 611-1140
深草福祉事務所 (支援保護課)	伏見区深草向畑町93-1 (深草総合庁舎内)	信濃橋一丁目	642-3574 FAX 642-7129
醍醐福祉事務所 (支援課)	伏見区醍醐大橋町28 (醍醐総合庁舎内)	〈地下鉄〉 醍 醐	571-6372 FAX 573-3785
京都市保健福祉局 保健福祉部障害企画課	中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 (市役所本庁舎4階)	京都市役所前	222-4185 FAX 251-2940

問1 あなたの年齢は満何歳ですか。…………… 歳

問2 あなたの性別をお答えください。……………

1. 男 2. 女

問3 あなたの夫又は妻の有無等についてお答えください。……………

1. 夫又は妻有 3. 死別
2. 未婚 4. 離婚

問4 あなたの世帯の人数は何人ですか。あなた自身を含めてお答えください。……………

1. 1人 3. 3人 5. 5人
2. 2人 4. 4人 6. 6人以上

問5 あなたの世帯で主に養育をえている方(生計中心者)はどなたですか。あなからの締切で
お答えください。……………

1. 本人 4. 子ども 7. その他 ()
2. 夫又は妻 5. 兄弟姉妹
3. 父・母 6. その他の親族

2. 障害の種類・程度・内容

問6 あなたの障害の種類は次のうちどれですか。お持ちの身体障害者手帳を見てお答えください。

い。(障害が重複している方は、主な障害を1つお答えください。)

- 1. 視覚
- 2. 聴覚・言語(ろうあ)
- 3. 聴覚・平衡
- 4. 音声・言語・そしゃく
- 5. 片上肢
- 6. 両上肢
- 7. 片下肢
- 8. 両下肢
- 9. 片上下肢
- 10. 四肢
- 11. 体幹・脳原性運動
- 12. 心臓
- 13. じん臓
- 14. 呼吸器
- 15. ぼうこう・直腸
- 16. 小腸
- 17. ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害

問7 障害が重複している方は、「問6」でお答えいただいた種類以外のすべての障害の種類を

「問6」で分類した1～17の項目から選んで、3つまでお答えください。

問8 お持ちの身体障害者手帳の等級(障害の程度)は何級ですか。身体障害者手帳を見て、

お答えください。

- 1. 1級
- 2. 2級
- 3. 3級
- 4. 4級
- 5. 5級
- 6. 6級

問9 身体に障害を受けた主な原因は何ですか。主な原因を1つお答えください。

- 1. 交通事故
- 2. 労働災害
- 3. その他の事故(1および2を除く事故)
- 4. 戦傷、戦病、戦災
- 5. 感染症(結核性股関節炎、連鎖球菌性骨膜炎、ポリオなどの病気)
- 6. 中毒性疾患(医薬品及びアルコール、水銀、カドミウム、ひ素、一酸化炭素などによる病気)
- 7. 脳血管障害(脳卒中など)
- 8. その他の病気(骨腫瘍、糖尿病、腎管支せんそく、椎間板ヘルニアなどの病気)
- 9. 出生時の損傷(脳性マヒなどによる脳神経系の損傷など)
- 10. 加齢(年をとったため)
- 11. その他(障害の原因を先の1～10に分類することができないもの)
- 12. 不明(何に起因するか不詳)

問10 障害を受けた時期はいつですか。(最初に障害が発生したときの満年齢をお答えください。

い。病気の場合は発病時を意味します。)

- 1. 出生時
- 2. 0歳～5歳
- 3. 6歳～11歳
- 4. 12歳～14歳
- 5. 15歳～17歳
- 6. 18歳～29歳
- 7. 30歳～39歳
- 8. 40歳～49歳
- 9. 50歳～59歳
- 10. 60歳以上

問11 あなたは、次の手帳をお持ちですか。

- 1. 療育手帳(A判定)を持っている
- 2. 療育手帳(B判定)を持っている
- 3. 精神障害者保健福祉手帳を持っている
- 4. 1～3の手帳は持っていない

3. 生活の状況

問12 あなたの日常生活の動作についてお答えください。

あなたは次の(1)～(8)までの動作が一人でできますか。次の各動作ごとに、いずれか1つ、番号を選んでお答えください。(この場合、「できる」、「できない」の判断は現在所持している補装具や自助具をつけた状態で判断してください。)

日常生活動作	「できる」 介助の必要 なし	「できない」 一部介助が 必要	「できない」 全部介助が 必要
(1) 食事をする	1	2	3
(2) トイレに行く	1	2	3
(3) 入浴をする	1	2	3
(4) 着替えをする	1	2	3
(5) 家の中を歩く	1	2	3
(6) 階段を昇り降りする	1	2	3
(7) 家事(炊事・掃除・洗濯など)をする	1	2	3
(8) 磨返しをする	1	2	3

問13 「問12」で1つでも「2. 一部介助が必要」「3. 全部介助が必要」と答えられた方におたずねします。それ以外の方は「問14」にお進みください。

問13-1 あなたの主な介助者は、どなたですか。

1. 夫又は妻 2. 父・母 3. 子ども 4. 兄弟姉妹 5. その他の親族 → 問13-2-1ハ	6. 近所の人・知り合いの人 7. 民間有料介護者（家政婦など） 8. ホームヘルパー 9. ボランティア 10. その他（ 11. 主な介助者はいない → 問14ハ
---	---

問13-2 「問13-1」で、「1. 夫又は妻」から「5. その他の親族」までのいずれかにおたずねします。それ以外の方は「問14」にお進みください。

問13-2-1 あなたの主な介助者の年齢は、おいくつですか。

1. 20歳未満
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳以上

問13-2-2 あなたのご家庭では、あなたのお世話をなさっている方が万一急病、事故、出産などのため、一時的にお世話ができなくなった場合、どうすることになっていますか。

1. 同居している家族などに頼む
2. 親戚・知り合いの人に頼む
3. 近所の人に頼む
4. ホームヘルパーに頼む
5. 施設などに一時的に依頼する（ショートステイなど）
6. その他（
)

問14 短期入所（ショートステイ）の利用についておたずねします。あなたは短期入所（ショートステイ）を利用されたことがありますか。

1. 現在、利用している。または利用したことがある → 問15-1ハ

2. 将来、必要になった時に利用したい

3. 利用を希望したが利用できなかった

4. 制度を知らなかったためで利用したことがない

5. その他（
) → 問16ハ

問15 「問14」で、短期入所（ショートステイ）を「1. 現在、利用している。または利用したことがある」とお答えの方におたずねします。それ以外の方は「問16」にお進みください。

問15-1 過去1年間にどの程度利用しましたか。

1. 1回
2. 2回
3. 3回
4. 4回
5. 5回
6. 6回以上

問15-2 1回あたり平均して何日程度利用しましたか。

1. 1～2日
2. 3～4日
3. 5～7日
4. 8～9日
5. 10日以上

問16 ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用についておたずねします。あなたはホームヘルプサービスを利用されたことがありますか。

1. 現在、利用している。または利用したことがある → 問17-1ハ

2. 将来、必要になった時に利用したい

3. 利用を希望したが利用できなかった

4. 制度を知らなかったためで利用したことがない

5. その他（
) → 問18ハ

問17 「問16」で、ホームヘルプサービスを「1. 現在、利用している。または利用したことがある」または「2. 将来、必要になった時に利用したい」とお答えの方におたずねします。それ以外の方は「問18」にお進みください。

問17-1 ホームヘルパーに手伝わしてほしいことは何ですか。主なものを3つまでお答えください。

1. 食事の介助
2. トイレの介助
3. 入浴の介助
4. 着替えの介助
5. 家事（炊事・掃除・洗濯など）の介助
6. 外出の介助
7. 介護者がいない時の世話

問17-2 ホームヘルパーを特にどのように利用したいですか。主なものを1つお答えください。

1. 毎日利用したい
2. 早朝・夜間に利用したい
3. 日曜や祝日に利用したい
4. その他（ ）

問17-3 ホームヘルパーを1週間のうち何日利用したいですか。

1. 1日
2. 2日
3. 3日
4. 4日
5. 5日
6. 6日
7. 7日

問17-4 ホームヘルパーを1日に何時間利用したいですか。

1. 1時間未満
2. 1～2時間未満
3. 2～3時間未満
4. 3～4時間未満
5. 4時間以上

問18 日帰り介護（デイサービス）の利用についておたずねします。あなたは日帰り介護（デイサービス）を利用したことがありますか。

1. 現在、利用している。または利用したことがある → 問19-1へ

2. 将来、必要になった時に利用したい
3. 利用を希望したが利用できなかった
4. 制度を知らなかったので利用したことがない
5. その他（ ）

→ 問20へ

問19 「問18」で、日帰りの介護（デイサービス）を「1. 現在、利用している。または利用したことがある」とお答えの方におたずねします。それ以外の方は「問20」にお進みください。

問19-1 どの程度利用していますか。

1. 1か月に1回
2. 1か月に2～3回
3. 1週間に1回
4. 1週間に2回
5. 1週間に3～4回
6. 1週間に5回以上
7. その他（ ）

4. 外出の状況

問20 あなたは普通1か月に何回くらい外出されますか。

- (1) 仕事・通学の場合、
- (2) 仕事・通学以外の場合、

	外出していない	1～3回	4～6回	7～9回	10回以上
(1) 仕事・通学の場合	1	2	3	4	5
(2) 仕事・通学以外の場合	1	2	3	4	5

問21 「問20」で「仕事・通学以外で外出した」とお答えの方におたずねします。それ以外の方は「問22」にお進みください。

問21-1 その場合、外出の目的は何でしたか。主なものを3つまでお答えください。

1. 買物
2. 知り合いの家に行く
3. レクリエーション
4. 障害のある市民の団体活動
5. ボランティア活動
6. 町内会・自治会活動
7. スポーツ活動
8. 博物館などの見学や教養講座への参加
9. 通院
10. 施設の利用
11. その他（ ）

問22 あなたは外出されるとき、どのようなことにお困りですか。主なものを3つまでお答えください。.....

1. 道路や駅に階段や段差が多い
2. 音の信号機が少ない
3. 点字ブロックの敷設がない
4. 利用できる交通機関が少ない
5. 車などに危険を感じる
6. 道路に自転車などの障害物が多い
7. 利用する建物の設備（トイレ・エレベーターなど）が不備
8. 介助者（手話通訳者、ガイドヘルパーなどを含む）がない
9. その他（ ）

問23 あなたは外出されるとき、主に利用される交通機関は何ですか。利用回数の多いものを3つまでお答えください。.....

1. JR
2. 私鉄
3. 市営地下鉄
4. 市バス
5. JR・民営バス
6. タクシー
7. 自家用車（自分で運転する）
8. 自家用車（介助者が運転する）
9. その他（ ）

5. 就労（仕事）・収入の状況

問24 あなたの就労状況についてお答えねします。
あなたは、現在、就労して（働いて）いますか。.....

1. 就労している（働いている） → 問25-1^
2. 就労していない（働いていない） → 問26^
3. 就労していたがやめた（働いていたがやめた） → 問27^

問25 「問24」で「1. 就労している（働いている）」とお答えの方にお答えねします。
「2. 就労していない（働いていない）」とお答えの方は「問26」に、「3. 就労していたがやめた（働いていたがやめた）」とお答えの方は「問27」にお進みください。

問25-1 あなたのお仕事は、次の種類のうちどれにあたりますか。.....

1. 農林漁業
2. 運輸通信
3. 事務
4. 管理的事務
5. 販売・サービス・飲食
6. あんま・マッサージ・はり・きゅう
7. 専門的・技術的職業（6を除く）
8. 染織業
9. 製造・加工業（8を除く）
10. 授産施設・共同作業所など
11. その他（ ）

問25-2 あなたのお勤めの形態は、次の区分のうちどれでしょうか。.....

1. 常勤
2. パート・アルバイト
3. 内職
4. 自営
5. 授産施設・共同作業所など → 問25-3-1^
6. その他（ ）

問25-3 「問25-2」で、お勤めの形態を「5. 授産施設・共同作業所など」と答えられた方にお答えねします。それ以外の方は「問25-4」にお進みください。

問25-3-1 あなたは、今後、会社ではたらくことを希望しますか。.....

1. 希望する
2. 希望しない（今のままがいい）

問25-4 あなたのお勤め先の従業員数は、およそ何人ですか。.....

1. 1人~4人
2. 5人~9人
3. 10人~19人
4. 20人~29人
5. 30人~49人
6. 50人~99人
7. 100人~299人
8. 300人~499人
9. 500人以上

問26-2 「問26-1」で、「1.就労したい(働きたい)」と答えられた方におたずねします。
 「2.就労したくない(働きたくない)」とお答えの方は「問28」にお進みください。

問26-2-1 現在、就労していない(働いていない)理由は何ですか。主なものを2つまでお答えください。……………

1. 病気のため
2. 年をとったため
3. 家事・学業に専念するため
4. 自分の障害にあった仕事がないため
5. 通勤上の支障があるため
6. 職場の人間関係がうまくいかないため
7. 賃金・労働時間など勤務条件が合わないため
8. その他 ()

問27 「問24」で「3.就労していたがやめた(働いていたがやめた)」とお答えの方におたずねします。

問27-1 やめた理由は何ですか。主なものを2つまでお答えください。……………

1. 病気のため
2. 通勤や職場の設備・環境が合わないため
3. 職場の人間関係がうまくいかないため
4. 自分もっている技術が生かせないため
5. 職場での障害への理解や必要な支援がなかった(求められなかった)ため
6. 仕事の負担が大きくなり、続けることができなくなったため
7. 賃金や労働時間など勤務条件が合わないため
8. 雇い主からやめるように言われたため
9. その他 ()

問28 あなたご自身には収入がありますか。……………

1. ある → 問29-1^
2. ない → 問30^

問25-5 現在のお仕事は、どんな方法で見つけられましたか。……………

1. 公共職業安定所(ハローワーク)【京都障害者職業相談室を含む】
2. 学校の紹介
3. 親戚や知り合いの紹介
4. 直接、自分さがした
5. 職業訓練校の紹介
6. その他 ()

問25-6 現在のお仕事について不安や不満をもっておられますか。……………

1. もっている → 問25-7-1^
2. もっていない → 問28^

問25-7 「問25-6」で、不安や不満を「1.もっている」と答えられた方におたずねします。
 「2.もっていない」とお答えの方は「問28」にお進みください。

問25-7-1 その理由は何ですか。主なものを2つまでお答えください。……………

1. 職場の設備に支障がある
2. 通勤上に支障がある
3. 自分の障害状況に職場の環境が適さない
4. 技術が生かせない
5. 人間関係が良くない
6. 将来性がない
7. 賃金・労働時間など勤務条件が合わない
8. その他 ()

問26 「問24」で「2.就労していない(働いていない)」とお答えの方におたずねします。

問26-1 あなたは、設備やその他の条件を整えば、就労したい(働きたい)と思われますか。……………

1. 就労したい(働きたい)
2. 就労したくない(働きたくない) → 問28^

8. 災害時の対応

問37 あなたは、火事や地震などの災害時に避難する場所として、あなたの地域に「一時避難場所」や「広域避難場所」があることを知っていますか。

- 1. 「一時避難場所」と「広域避難場所」の両方を知っている
- 2. 「一時避難場所」だけ知っている
- 3. 「広域避難場所」だけ知っている
- 4. 両方とも知らない

問38 あなたは、災害時、家の外に逃げることができますか。

- 1. 手助けがなくても一人でできる
- 2. 手助けがあればできる
- 3. 全面的な介助がなければできない

問39 災害に巻き込まれた時、地域の住民同士で助け合うことを目的とした「自主防災組織」が、市内の各地域で結成されていることを、あなたは知っていますか。

- 1. 知っている → 問40-1A
- 2. 知らない → 問41A

問40 「問39」で「1. 知っている」とお答えの方におたずねします。「2. 知らない」とお答えの方は「問41」にお進みください。

問40-1 あなたは、自主防災組織の活動に参加されていますか。

- 1. 積極的に参加している
- 2. 誘われれば参加している
- 3. 参加していない

問41 あなたは、災害に巻き込まれた時、どのようなことに不安を感じますか。主なものを2つまでお答えください。

- 1. 自分で避難ができない
- 2. 初期消火ができない
- 3. 医療器具の使用や服薬ができなくなる
- 4. 少しの時間でも避難所で過ごすことができない
- 5. 地震などの情報を得にくい
- 6. その他 ()
- 7. 持たない

9. 福祉施設の利用および福祉施策への要望など

問42 あなたは、障害のことなどで悩んだり心配した時、また福祉サービスに関する情報を知りたいた時、どのようなところに相談されますか。主なものを3つまでお答えください。

- 1. 福祉事務所、更生相談所、発達相談所など市の相談窓口
- 2. 障害のある市民の団体
- 3. 民生委員・児童委員
- 4. 身体障害者相談員
- 5. 社会福祉施設職員
- 6. 障害者地域生活支援センター
(きらりんく・らくなん・らくとう・ウエストサイド・あいりん・にしじん・うきよう・ふかくさ)
- 7. ホームヘルパー
- 8. ボランティア
- 9. 学校・会社
- 10. 医療機関
- 11. 家族・知り合いの人
- 12. その他 ()

問43 あなたは、今後どのような相談をしたいと思えますか。主なものを3つまでお答えください。

- 1. 医療・健康のこと
- 2. 教育のこと
- 3. 仕事のこと
- 4. 収入のこと
- 5. 福祉サービスの利用・介助のこと
- 6. 日常生活での悩みのこと
- 7. 災害時の避難方法などのこと
- 8. その他 ()

問4.4 あなたは、どのような施設や障害者施策の利用を希望されますか。主なものを3つまでお答えください。

1. 地域で生活するうえでいろいろな相談のついでに利用できる窓口 (障害者地域生活支援センター)
2. 日常生活の支援を行うホームヘルプサービス (居宅介護など)
3. 介護者が急病などのため一時的に介助ができなくなるときに利用できる施設 (ショートステイ)
4. 外出を支援するサービス (ガイドヘルパー)
5. 重度の障害のある方がいろいろな福祉サービスを合わせて受けることができるサービス (重度障害者等包括支援)
6. デイサービス (文化的な活動、機能訓練などを行う施設)
7. 会社で働くことを目指して訓練する施設 (就労移行支援、職業訓練校)
8. 授産施設、福祉工場、共同作業所など仕事をさせる施設
9. 自立した日常生活・社会生活ができるよう訓練を行う施設 (自立訓練)
10. 障害のある人が介護を受けながら生活を営む施設 (施設入所支援)
11. 共同で生活を行い介護や日常生活の支援を行う施設 (ケアホーム、福祉ホーム)
12. 重度の知的障害と肢体不自由が重複する方が、治療や日常生活の指導を受ける施設 (重度心身障害児(者)施設、重度心身障害児(者)通園事業、心身障害児通園事業を含む)
13. 障害のある人に配慮した住宅 (公営住宅)
14. 障害のある人が、その後、安心して生活できる老人ホームなどの施設
15. スポーツ施設
16. サークル活動、文化活動などのできる施設
17. その他 ()

問4.5 あなたにとって、今後特に必要とされるもの、または強く望みたいことがらがありますか。次のうちから最も近いものを5つまでお答えください。

1. 専門的な機能回復訓練を受けたい
2. 医師、専門職員などによる訪問指導を受けたい
3. 医療費の軽減など、受診しやすいようにしてほしい
4. 障害者医療をはじめとした医療制度の拡充を図ってほしい
5. 日常生活用具、補装具の改善、開発など充実を図ってほしい
6. 日常生活の中での介助体制の充実を図ってほしい
7. 手話通訳者、要約筆記者、点訳・朗読ボランティア、ガイドヘルパーなどを充実してほしい
8. 障害者の状況に応じた職業訓練を受けたい
9. 障害のある人が働けるところがほしい
10. サービス・医療の利用者負担の軽減や、公的年金、手当の増額など所得保障を充実してほしい
11. 社会が、障害のある人に理解と関心をもってほしい
12. 各種の相談事業を充実してほしい (法律・住宅改造・結婚など)
13. 道路・公園などの公共施設、建物、乗りもの (ノンステップバスなど) を障害のある人が利用しやすいように整備を進めてほしい
14. スポーツ、サークル、文化活動などに参加したい
15. 障害のある人の権利を守るための施策を進めてほしい
16. 障害のある人の家族のリフレッシュを図る事業を進めてほしい
17. その他 ()

